

様式

技術名称	コンクリート構造物の断面修復 乾式吹付け工法	技術の分類	工法	NETIS登録の有無 (有場合はNETIS番号)	CB-020040-A
会社名等	StoCretec Japan(株)	担当者	齋藤 慎矢	連絡先	03-5919-4701
技術の概要	Sto乾式吹付け工法は、湿式吹付け工法とは異なり、吹付け直前のノズル部においてポリマーセメントに水を加えて吹付けるため、圧送ホース内の抵抗が少なく、長距離搬送・高速吹付けが可能である。 吹付けノズル部で水を加えて高速度のエネルギーで締固めることにより、単位水量が抑えられ、また既存コンクリートとの付着性や鉄筋裏など狭所への充填性にも優れる。高密度・高品質の断面形成が可能であり、各種の劣化要因に対する耐久性に優れた工法である。	添付資料	パンフの有無	有	
			その他の資料	無	
技術の特徴	<ul style="list-style-type: none"> ・施工可能範囲はプラントから水平距離200m以上、垂直高さ約150m以内と、材料の長距離搬送が可能。 ・ポリマーセメントモルタルの厚付け(一層50mm)ができるため、施工スピードが速く工期の短縮が図れる。 ・圧送ホースの閉塞等のトラブルがなく長時間の作業中断が可能。清掃も容易。 ・道路交通振動下での施工が可能。 ・高密度・高品質の断面形成が可能で、中性化や塩害、凍害などに対する耐久性が高い。(圧縮強度: 62.5N/mm²、付着強度: 2.2N/mm²等) ・施工温度は+5℃～+30℃とする。これ以外は適切な暑中・寒中養生を行う。 ・降雨時は吹付け面に雨がつかないようにシートなどで養生を行う。 ・吹付け設備を配置するプラントスペースは、W=3.0m×L=8.0m程度。 ・車上プラントの場合は4tトラック2台を要する。 	その他	<ul style="list-style-type: none"> ・吹付け方向が下向きになる場合、人が立ち入れないような狭い場所は適用不可。 ・特許使用料は不要。 		